

『2019年度東北学院大学外部評価報告書』を受けて

東北学院大学は、教育・研究水準の向上及び組織の活性化等に資する評価を学外の第三者から得るために、「東北学院大学外部評価委員会規程」を定め、2010年度から外部評価を実施してまいりました。

この規程に基づき、2019年度から2021年度までを第4期外部評価期間とし、東北大学高度教養教育・学生支援機構杉本和弘教授を委員長としてスタートすることになりました。

第4期外部評価委員会は、文部科学省中央教育審議会において「2040年に向けた高等教育のグランドデザイン（答申）」（2018年11月26日）が提示されことに伴い「教学マネジメント」に係る指針の策定や学修成果の可視化に向けた動きが強まっていることから、本学における「教学マネジメント」の運用体制を外部評価の対象としております。

2019年度は、2017年度に受審した大学基準協会における大学評価において長所や努力課題となった事項及び第3期外部評価委員会からの指摘事項の現状について、担当部局長に対し書面及びヒアリングでの調査を実施していただきました。

その結果は、『2019年度東北学院大学外部評価報告書』としてまとめられ、2020年3月18日開催の第3回外部評価委員会において提出していただきました。本報告書の作成にあたり、外部評価委員会の皆さまには多大なるご尽力をいただきました。あらためて委員の皆さまに厚く御礼申し上げます。このたび提出された『2019年度東北学院大学外部評価報告書』は、広く学内外に公表させていただくこととします。

『2019年度東北学院大学外部評価報告書』において、提示された長所はさらに伸長させること、改善の検討・実施が必要となるご指摘は迅速に改善を進め、「学修者本位」をキーワードに「教学マネジメント」の構築・運用に努めてまいります。

ご高覧いただき、忌憚ないご意見を賜れば幸いです。

2020年3月18日

学長 大西 晴樹
点検・評価担当副学長 原田 善教